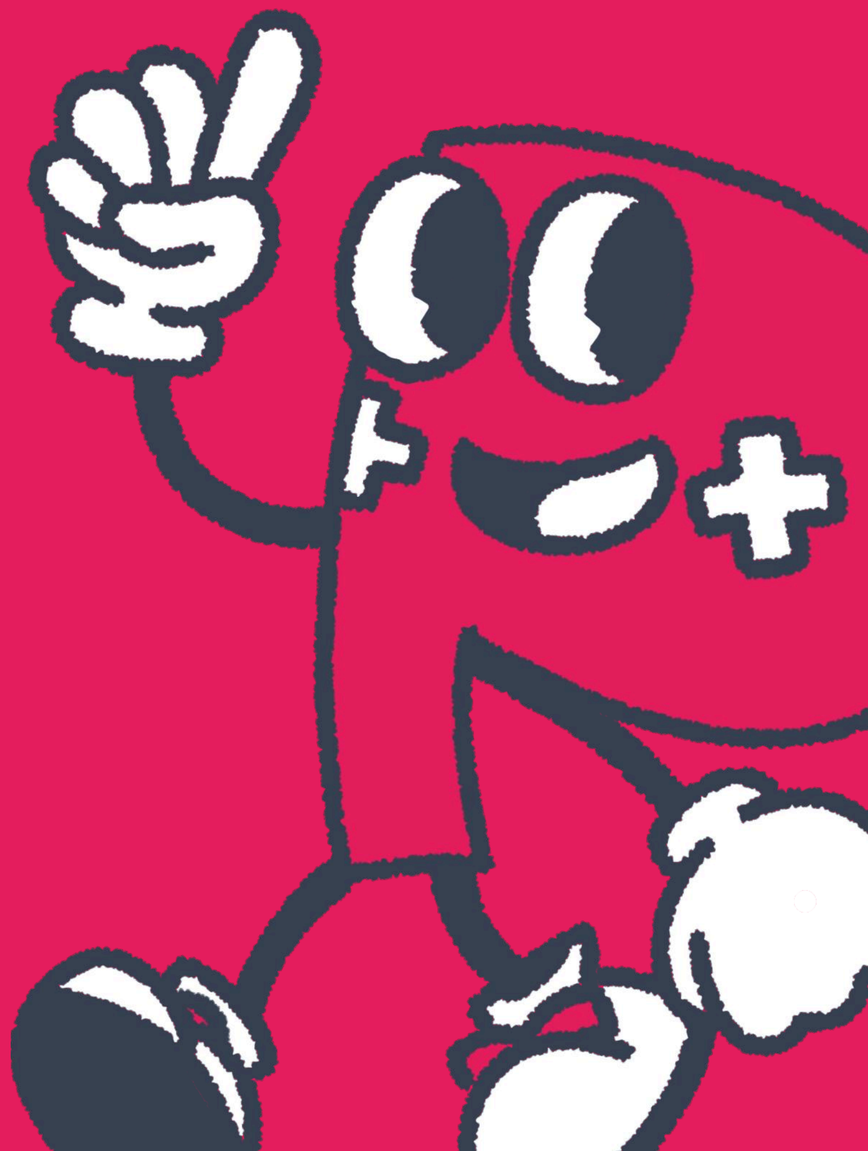
PropTech plus

ENGINEERS' HANDBOOK



01

ABOUT US

私たちについて

私たちについて ABOUT US

IT (Tech)の力で不動産 (Property)業界の発展に寄与する (Plus)ことで

REIT業界及び不動産ファンド業界において

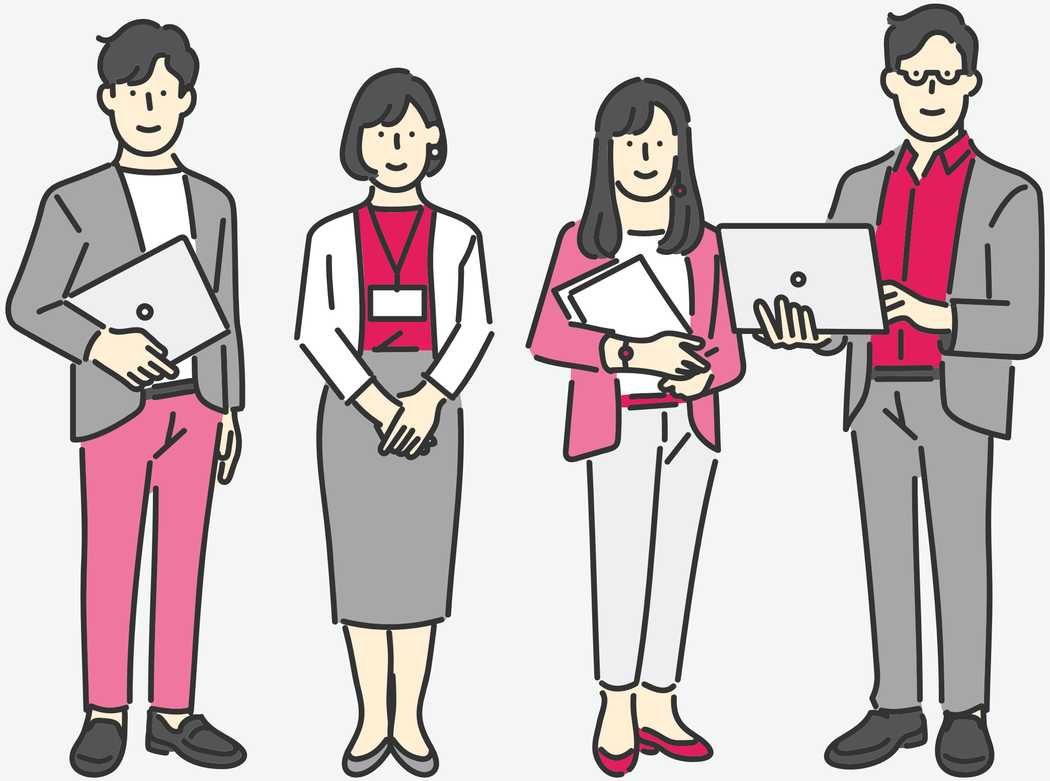
The UNIQUE Value Designerとしての役割を果たす。

私たちは2013年の創業以来、REIT業界を中心に不動産ファンド向けシステム開発やウェブサイト構築、データサービスの提供等を主体とした事業を展開してきました。

それらの事業を軸に業界標準となるソリューションプラットフォームの礎を築くことで不動産業界のDX（デジタル化）を推し進め、 お客様の課題解決をサポートしてきた多くの実績があります。

これからの不動産業界は、高齢化や人口減少、長引くコロナなどで急速に変わります。限られた人手でも高い成果を出すには、ITの力をもっと使うことが必須です。

私たちはこれからも「ほかにはない価値を生み出す会社」として、お客様の多様なニーズに当社ならではのUniqueなソリューション提供に努め、業界のValue向上をDesignする役割を果たしていきます。



REIT業界向けサービスが中心 OUR VALUES

REIT（不動産投資信託）業界って？

REITとは、不動産を投資対象とする投資信託です。投資家から調達した資金を用いて不動産等を取得・運用し、そこから得られる賃料収入や売却益を原資として投資家に分配する金融商品です。

REIT業界における私たちの存在意義と目的

- 独自の業務システムによる運用業務の効率化：独自開発の業務システムを活用していただくことでJ-REITの運用業務を効率化・高度化し、安定的な資産管理・ファンド運用を実現します。
- 業界関係当事者間の情報連携を円滑化：弊社システムを通じて、物件管理担当者、運用担当者、事務受託者、投資家といった関係当事者間における情報連携の円滑化を推進します。
- 投資家に向けた質の高い業界情報の提供：業界に特化したポータルサイトを通じて、投資家や機関投資家に対し最新かつ有益な業界情報を提供し、投資判断や戦略立案を効果的に支援します。

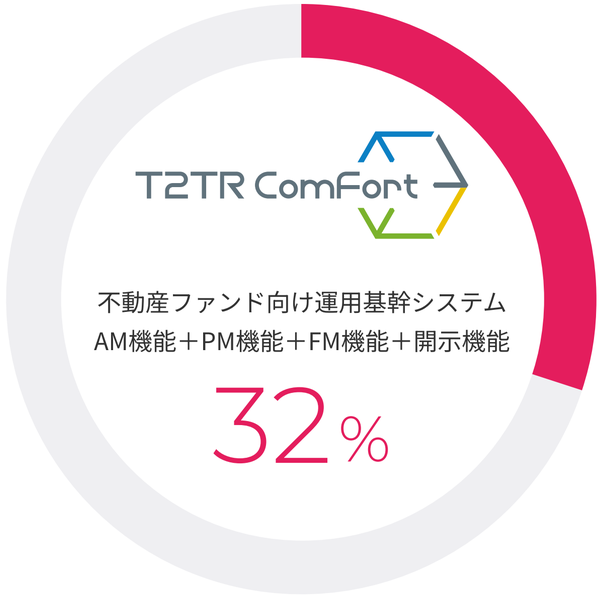
PT+の事業について ABOUT OUR SERVICE

REIT運用業務支援（アセットマネジメント業務 ／ プロパティマネジメント業務 ／ ファンドマネジメント業務）

資産運用会社向け

不動産ファンド基幹システム

導入シェア No.1



電子指図プラットフォーム

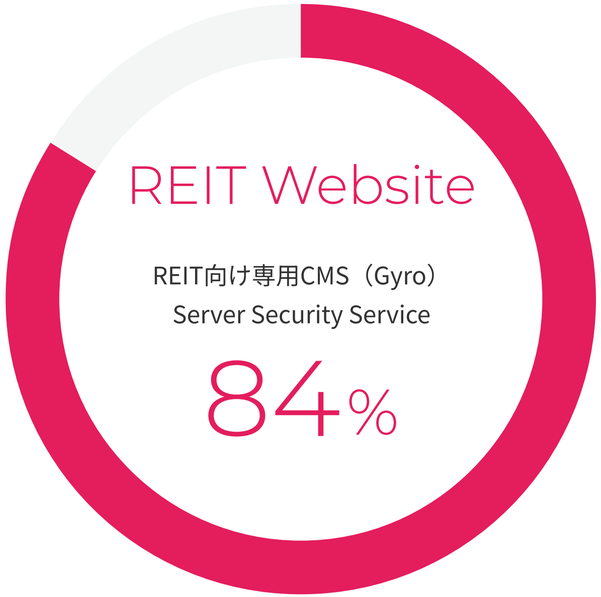
業界導入シェア No.1

※シェアは導入AM会社単位にカウント

REIT業界向けWebsite

構築・運用保守シェア No.1

※上場及び私募REITの合計



PT+の事業について ABOUT OUR SERVICE

REIT情報提供サービス

レンダー（金融機関など）向け

REITデータサービス

業界 No.1 のデータ量

JAPAN REIT DB

物件データ蓄積

5500 件以上

利用実績

100 社以上

投資家及び機関投資家向け

REIT業界特化のポータル運営

業界最大手の 実績

JAPAN REIT

公募REIT情報を集積したポータルサイト

月間 100 万PV（グループ全体PV）

JAPAN REIT

JAPAN PRIVATE REIT.COM

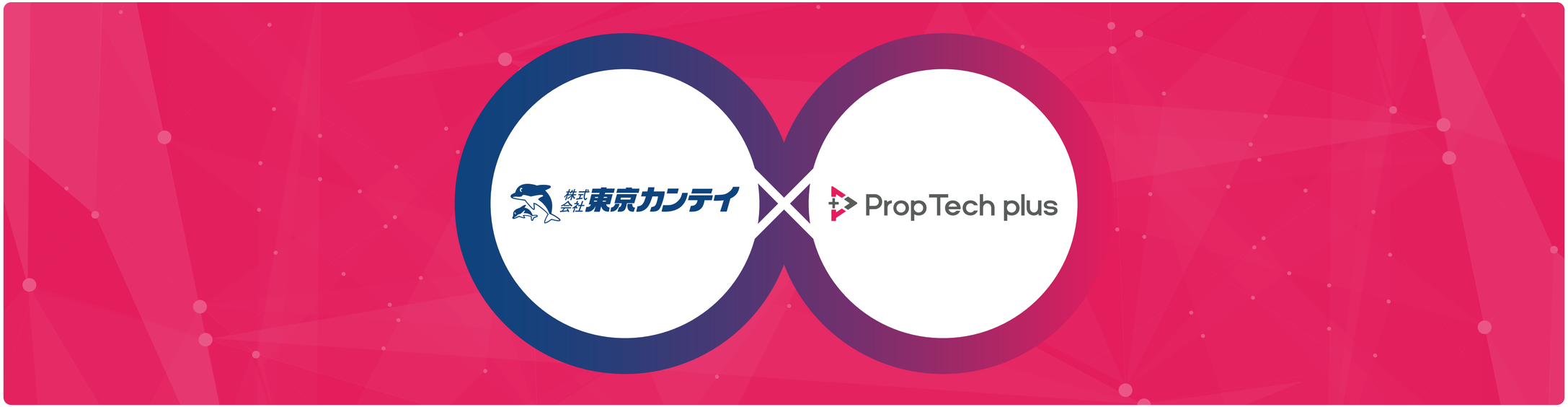
適格投資家向け私募REIT情報コミュニティサイト
（会員登録要）

東京カンテイグループならではの強み OUR STRENGTHS

不動産の 所有 運用 管理 の 進化 と 深化 へ

Prop Tech plusは、東京カンテイグループによる不動産の総合コンサルティング＆サービスを基盤に、不動産の所有・運用・管理の業務効率化を実現するデータベース＆ソリューションを提供

次世代に繋がる“不動産テック”の追求と実践により、新たな不動産事業を切り拓きます



企業理念 PHILOSOPHY

MISSION （PT+の目指す姿）

業界のベストパートナーという立場から
イノベーションリーダーへの飛躍

培ってきたノウハウと確かなテクノロジーでREIT・不動産ファンド業界を支えてきた実績を礎に、業界の発展に寄与する存在へと飛躍することを目指します（業界を牽引する存在へ）

VISION （長期的な目標）

各プロダクトやサービスを連携し、
他にはない新しい業界標準サービスの提供

業界標準となるソリューションプラットフォームとして存在する各サービスを連携することで、PT+でしか提供することができないone-stepサービスを実現します（業界での存在価値向上）

PT+のエンジニアに求められること WHAT IS REQUIRED

PT+事業成長の後押し

既存プロダクトのブラッシュアップや顧客ニーズに応じた改修、事業企画から生まれる新しいソリューションを開発する

プロジェクト制の促進

プロジェクト制＝マトリクス型組織での協働の促進と効率的な開発プロセスを確立する

変化に対応できる組織

自己成長やスキルアップに対して、よりポジティブな組織文化を醸成する

新しい組織体制がスタートしたばかりで現状確立されたルールはありません
開発文化をゼロから築き上げていくことに面白みを感じてもらえるようなエンジニアをPT+は求めています

02

PRODUCT DEVELOPMENT

PT+のプロダクト開発

プロダクト開発について PRODUCT DEVELOPMENT

役割を持ち、職種を超えて共に推進するプロジェクト文化

私たちは、単なる職種ごとの分業にとどまらず、各メンバーがそれぞれの専門性と役割を持ちながら、チーム一体となってプロジェクトを推進しています。一般的には、PO（プロダクトオーナー）が事業企画を行い、PMが要件定義をまとめ、それをディレクターがデザイナーやエンジニアに渡すといった縦割りの進行が主流かもしれません。しかし私たちのチームでは、デザイナーもエンジニアも企画・要件定義の初期段階から参画します。各自が自らの視点と専門知識を活かして意見し、より高い完成度を目指してプロジェクトを前に進めています。オープンでフラットな環境の中でも、役割意識とプロフェッショナリズムを持って、全員で成果にコミットします。それが、私たちの「全員でつくる」スタイルです。

最適を追求する、柔軟な開発スタイル

私たちの開発は、アジャイルとウォーターフォール、それぞれの強みを活かしたハイブリッド型。スプリントを活用しながらも、必要に応じて仕様を固めるフェーズを設けるなど、プロダクトに最適な進め方を柔軟に設計しています。ルールに縛られすぎることなく、状況に応じてメンバー同士が自律的にフォローアップ。「決まったやり方」よりも、「どうすれば最良のアウトプットが出せるか」を常に重視しています。新しい技術やプロセス改善の提案も歓迎。エンジニア自身が主体となり、開発の質とスピードを両立する文化があります。

気軽に相談し合い、気づきを共有するオープンなコミュニケーション文化

私たちは、一方通行のやりとりではなく、困ったときにはすぐに相談できる、オープンなコミュニケーション環境を大切にしています。Slack上では、プロジェクトチャンネルでフランクに相談し合うのはもちろん、各メンバーが日々の気づきや学び、違和感などを自主的に発信する文化も根付いています。小さな発見や課題も、気軽に発信・共有できる空気があるからこそ、チーム全体で素早くキャッチアップし、スムーズに課題を解決しながらプロジェクトを前進させることができています。

技術選定 TECHNOLOGY SELECTION

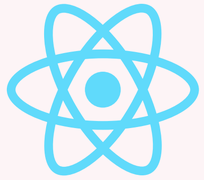
長く戦える技術を選ぶ、堅実かつ実践的なスタイル

私たちの技術選定は、「尖りすぎず、古びない」を基本とした堅実な方針を取っています。
不動産業界の特性上、流行や話題性よりも、安定性・信頼性・拡張性が何より重要です。
だからこそ、私たちは「ちゃんと動き、ちゃんと成果を出し続けられる技術」を冷静に選び取っています。
選ぶ技術には派手さは求めませんが、「長く使える」「チーム全体で理解・運用できる」「将来的にも成長できる」、そんな観点で、地に足のついた開発基盤を築いています。

流行に流されることなく、本当に価値あるものを、チームの手で育てていく

それが、私たちのエンジニアリングスタイルです。

TypeScript



React

Express

Prisma

Vite

技術選定 TECHNOLOGY SELECTION

社内AI利用の促進

私たちはAIを開発のパートナーと捉え、エンジニアが最大限力を発揮できる環境を整えています。コード補完、技術課題やトラブル対応、プロトタイプ生成、プロジェクト理解など、開発のあらゆる場面でAIを活用しています。さらに、アイデア検討や課題解決の壁打ち役としても利用しています。会社が推進しているAIは以下4種ですが、チームの課題や目的に応じて最適なAIを選定し、導入・活用することで、効率的かつ創造的な開発を実現しています。

Gemini

Google Gemini

GitHub Copilot

GitHub Copilot

NotebookLM

Google NotebookLM

Copilot

Microsoft365 copilot chat

その他必要に応じて新規AIツールの導入検討も可能

田村 海斗　KAITO TAMURA

兄が働いていたことをきっかけに、職場の雰囲気や人間関係を知り、未経験でも挑戦できる環境に魅力を感じて入社を決めました。当初はフルリモートでの勤務に不安がありましたが、周りの丁寧なサポートがあり安心して仕事をしています。入社前はエンジニア職に黙々と作業するイメージがあったのですが、実際はチームでの活発なやりとりが多く、良い意味で印象が変わりました。

社員インタビュー INTERVIEW

Q. 現在担当しているプロジェクトや業務について教えてください

A. 私募REITの保守やデータ更新、ポータルサイトの運用などを担当しています。Rails、PHP、EC2などを使用していて、今後はReactやTypeScriptも学ぶ予定です。

Q. 日々の業務の中で、特にやりがいを感じる瞬間は？

A. 一見難しそうな依頼を形にできた時の達成感が大きいです。特にコードを書いている時間が一番楽しいです。

Q. 中長期的にどのようなエンジニアになっていきたいと考えていますか？

A. 基礎から応用まで幅広くスキルを伸ばし、自分ならではの専門性を持ったエンジニアを目指しています。

Q. 今後チームや会社全体に対して、どんな形で貢献していきたいですか？

A. 新たに学ぶ技術をいち早く現場で活かし、プロジェクトに貢献したいです。また、途中参加者だからこそ気づける視点で、チームの改善にも関わっていければと思います。

Q. 一緒に働くなら、どんなタイプの人と働きたいですか？

A. 気軽に声をかけられて、相談しやすい人ですね。チームでの情報共有が大切だと日々感じています。

Q. これから応募を検討している方へメッセージをお願いします

A. 未経験でも、リモートでも、丁寧にサポートしてくれる環境があります。挑戦したいという気持ちがあれば、必ず成長できる場だと思います。

山下 慶洋 YOSHIHIRO YAMASHITA

前職ではコードを書く機会が少なかったため、実際に開発に携われる環境を求めて転職しました。面接の時、特に印象的だったのが社長の柔らかい人柄でした。入社後もその印象は変わらず安心感がありました。意外にも、金融系らしからぬ新しい技術への柔軟な姿勢には良い意味で驚きました。今は技術と人のバランスが取れた職場で日々成長を実感しています。

社員インタビュー INTERVIEW

Q. 現在担当しているプロジェクトや業務について教えてください

A. 「T2TR ComFort」のフロントエンド開発を中心に、リリース前の鑑定業務システムの構築にも関わっています。

Q. 日々の業務の中で、特にやりがいを感じる瞬間は？

A. ユーザーの声をもとに開発した機能で業務が楽になった時や、最新技術を使ってマルチテナント機能を実装できた時に達成感を感じます。

Q. 中長期的にどのようなエンジニアになっていきたいと考えていますか？

A. フルスタックを目指しながら、特にTypeScriptに強みを持つエンジニアになりたいと思っています。

Q. 今後チームや会社全体に対して、どんな形で貢献していきたいですか？

A. TypeScriptの知識を深め、現場での提案やコードレビューでも貢献できるようになりたいです。

Q. 一緒に働くなら、どんなタイプの人と働きたいですか？

A. 謙虚で素直な人が理想です。言葉遣いにも気を配れる方だと、安心して働けると思います。

Q. これから応募を検討している方へメッセージをお願いします

A. コードを書くのが好きな方には、やりがいのある職場です。好奇心とチャレンジ精神を持った方の応募をお待ちしています。

四戸 汐里 SHIORI SHINOHE

転職のきっかけは、IT化が遅れている業界の課題を、エンジニアリングの力で解決したいと考えていたからです。入社の決め手は、業務知識を深めながら現場に関わることで、より実践的な価値を提供できると感じたところです。面接時に感じたフレンドリーな雰囲気は、入社後も変わらず、むしろ日々のコミュニケーションを通じて、風通しの良さをより実感しています。

社員インタビュー INTERVIEW

Q. 現在担当しているプロジェクトや業務について教えてください

A. バックエンドエンジニアとして、T2TRのパッケージにおける新規機能開発を担当しています。要件定義から実装・テストまで幅広く関わっています。

Q. 日々の業務の中で、特にやりがいを感じる瞬間は？

A. 自分が作った機能をお客様が実際に使ってくださっているのを確認できたときです。実際にITで業務課題が解決された瞬間に、大きな手応えを感じます。

Q. 中長期的にどのようなエンジニアになっていきたいと考えていますか？

A. 現在はバックエンドを中心に担当していますが、今後はインフラ寄りの領域にも携わっていきたいと考えています。技術の幅を広げ、より柔軟なエンジニアを目指したいです。

Q. 今後チームや会社全体に対して、どんな形で貢献していきたいですか？

A. 社内で積極的に情報発信し、新しい技術や考え方に触れるきっかけを周囲に提供できればと思っています。互いに刺激を与え合える環境づくりに貢献したいです。

Q. 一緒に働くなら、どんなタイプの人と働きたいですか？

A. フルリモート・裁量労働といった柔軟な働き方の中でも、自律的に動けて、地道に業務に向き合える人と一緒に働きたいです。

Q. これから応募を検討している方へメッセージをお願いします

A. 挑戦を応援してくれる社風があり、自分のペースで着実に成長できる環境があります。堅実さを持ちつつ、新しい技術にも前向きな方には、とてもやりがいのある職場だと思います。

03

CULTURE

文化・カルチャー

文化・カルチャー CULTURE

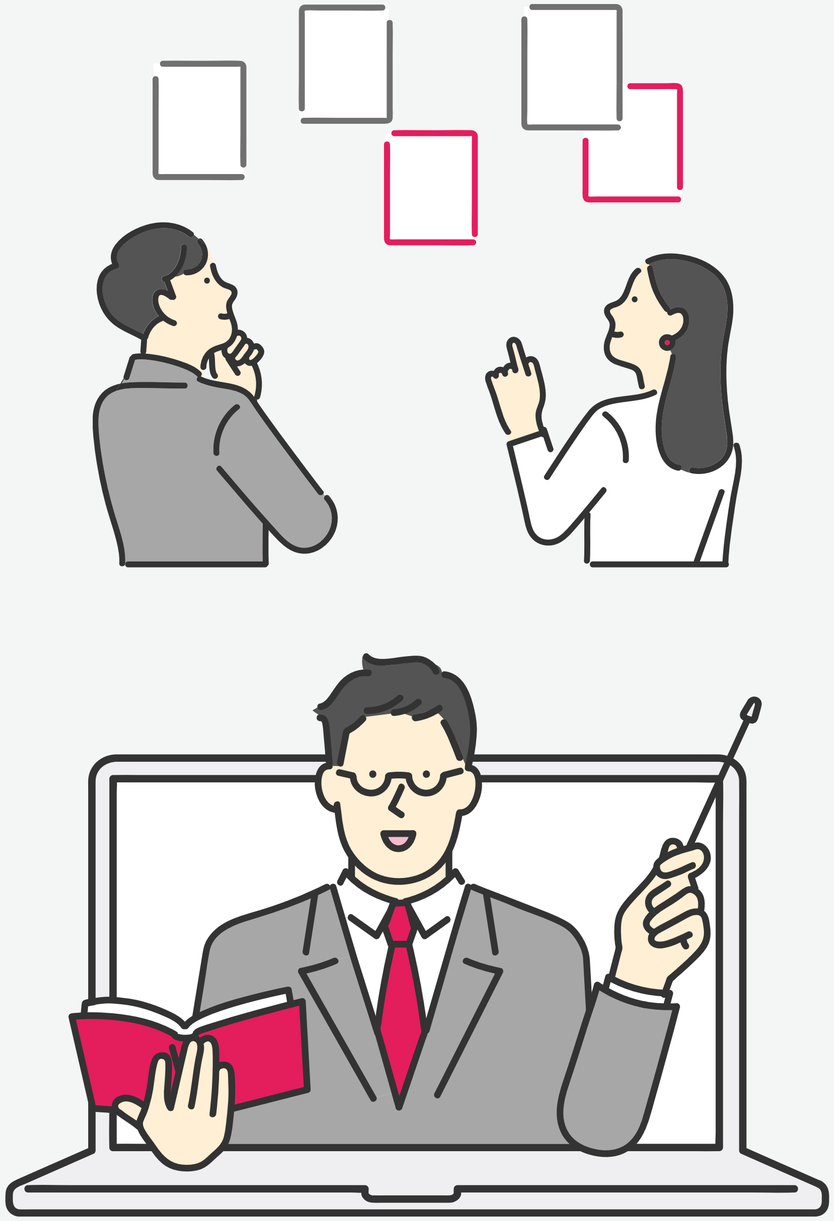
リモートでもつながる、ちょうどいい距離感のチーム

フルリモート体制を継続している今、対面でのつながりも大切にしています。
BBQや忘年会など、全社イベントも豊富で「顔が見える関係性」を会社として大事にしています。
仕事では、カチッとしすぎず、良い意味での“ゆるさ”があり、誰もが自分らしく働ける雰囲気です。
その一方で、「自分で考えて動く」姿勢もとても大切にしています。
能動的に考え、周囲を巻き込みながらプロジェクトを前に進めていくことが、チーム全体の力になります。
自律と協働のバランスが取れた、心地よいチームを目指しています。

文化・カルチャー CULTURE

学び続ける姿勢を、チーム全体で応援

社内では、週1ペースで開催される「EA-gig」や「T2TR」についての勉強会をはじめ、AWSやワークショップ系の勉強会など、技術共有の場が頻繁にあります。
また、メンバー各自が外部セミナーに参加することも推奨されており、学びの機会は社内外問わず豊富です。
Udemyの講座や技術書の購入など、スキルアップにかかる費用は会社がサポート。
さらに、年に1回程度はエンジニア合宿も行い、じっくり技術に向き合う時間やチームでの交流も大切にしています。



文化・カルチャー CULTURE

リモートでも円滑な連携を実現するコミュニケーション文化

リモート環境でもスムーズに連携できるよう、毎朝の朝会でタスクの確認や進捗共有を行っています。 SlackやTimesでは、かしこまった報告ではなく、ちょっとしたつぶやきのように気軽に情報共有をする文化があります。 また、年に一度はエンジニア合宿も実施しており、日常業務から少し離れて技術やアイデアに集中できる機会を大切にしています。

文化・カルチャー CULTURE

「人」と「チーム」を育む―エンジニアチームの価値観を深めるEA合宿の取り組み

エンジニアチームでは、チームとしてより大きな価値を生み出す働き方を模索するため、年に一度「EA合宿」を開催しています。
このEA合宿では、グループワークを通じてオフラインの交流を深めながら、エンジニアとしての価値観を言語化し、共有することを目的としています。
初回の合宿では、それぞれの価値観を共有しそれをスローガンとしてまとめるワークショップを実施しました。
2回目は、情報処理推進機構（IPA）が開発した、攻撃者視点を体験できるボードゲーム『Cyber Attacker Placement』に挑戦しました。
EA合宿では 技術だけでなく「人」と「チーム」を大切にする私たちのカルチャーを象徴する取り組みです。

文化・カルチャー CULTURE

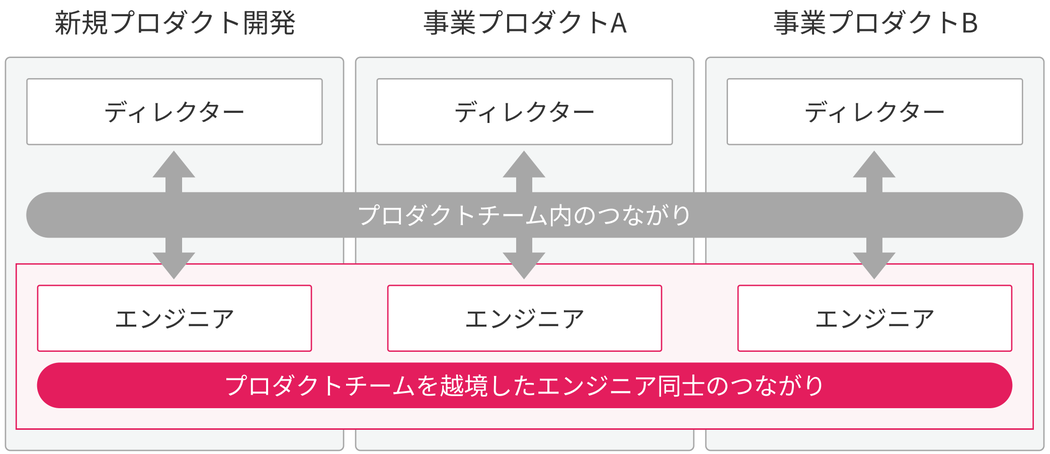
交流とチーム力を育む―Prop Tech plusの社内部活動の取り組み

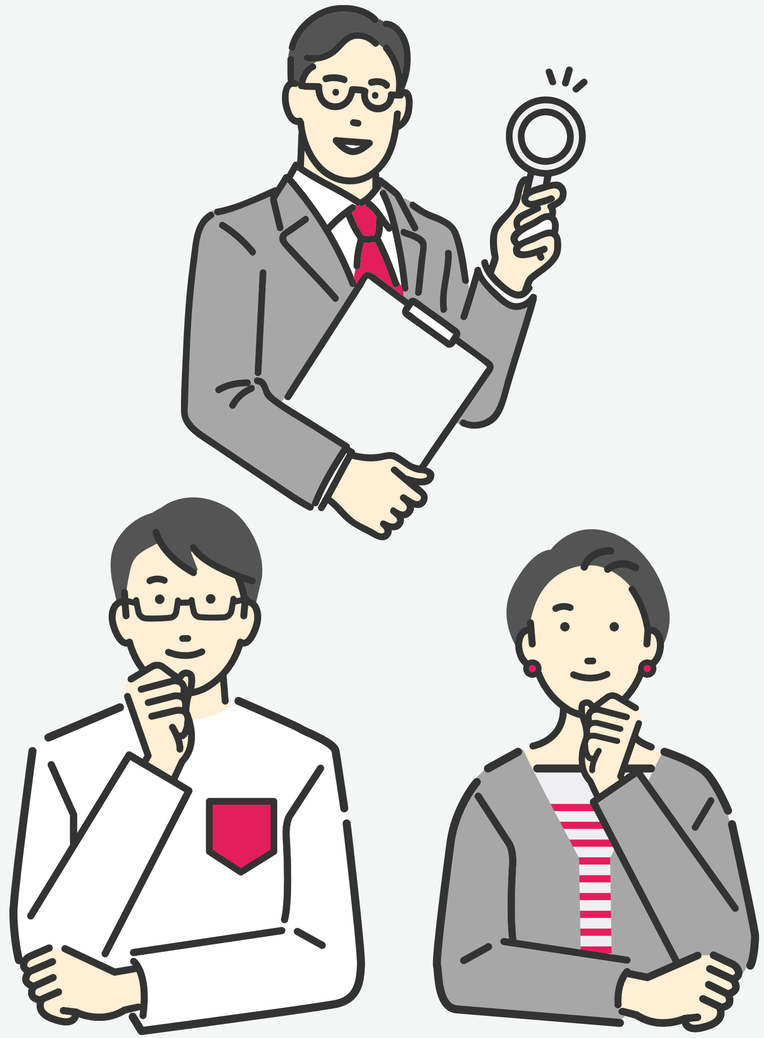
Prop Tech plus株式会社では、さまざまな部活動を行っています。
これらの部活動は、仕事の枠を超えて社員間の交流を促進し、チームワークの向上を目指しています。
ランニング部やモルック部、料理部など部活動の種類は多岐にわたり、スポーツや趣味の活動を通じて社員がリフレッシュできる場を提供しています。
また、普段は接点のない社員が交流することで、社内の雰囲気もより一層活発的なものになります。
こうした活動が社員のモチベーションや創造性に良い影響を与えています。
今後も様々な部活動を企画し、社員全員が楽しめる環境づくりに力を入れていきます。

文化・カルチャー CULTURE

担当プロダクト開発にコミットしつつ、技術トレンドなどの交流を目的としたエンジニアコミュニティも機能

プロダクトチームでは、エンジニアとディレクターがフラットに意見を交わし、共により良いプロダクトをつくり上げています。さらに、プロジェクトの枠を超えたエンジニア同士のつながりも大切にしており、技術勉強会や日々のコミュニケーションを通じて、互いの知見を共有しています。こうしたつながりが挑戦を後押しし、個々のスキルアップと組織全体の成長につながっています。





04

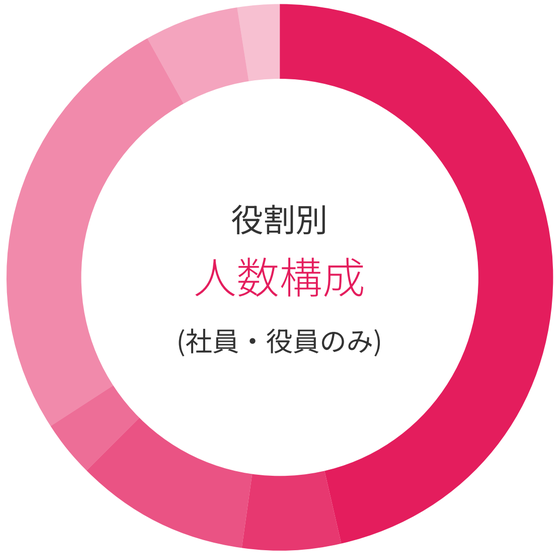
WORK STYLE / BENEFITS

働き方・福利厚生

プロダクトにコミットしつつ越境するエンジニア組織 ORGANIZATION STRUCTURE

- 20代：16名
- 30代：31名
- 40代以上：40名

- 男性：52名
- 女性：35名



- ディレクター：46.6%
- 業務管理・経営企画：5.7%
- 部長・副部長：10.2%
- 役員：3.4%
- エンジニア：26.1%
- クリエイティブ：5.7%
- 営業企画：2.3%

働き方 WORK STYLE

就業時間	出勤時間選択制（勤務時間調整可能） 月平均残業20時間以内
勤務地	フルリモート 本社所在地：東京都 千代田区 内幸町2-1-6 日比谷パークフロント19階
服装	私服可
福利厚生	健康保険 | 厚生年金 | 雇用保険 | 労災保険 | がん保険 | 確定拠出型年金 | 通勤手当 | 残業手当 | 親睦食事補助制度 | 資格取得支援制度
休日・休暇	完全週休2日制（土日・祝日・年末年始） 有給休暇（入社時10日間付与。入社1.5年後から1年毎に規定日数を付与） 夏期休暇（7月〜9月で3日間の休暇。入社3ヶ月後から取得可能） リフレッシュ休暇（年度1回最大3日間連続の休暇。入社6ヶ月後から取得可能） 勤続10年特別休暇（5日。10年度〜翌年度で取得） 産前産後休暇 | 育児・介護休業 | 慶弔休暇
業務用マシン	会社支給。スペックやOSについては選択肢があります。

働き方 WORK STYLE

一人ひとりが力を発揮できる、柔軟で働きやすい環境づくりを推進

社員一人ひとりの子育てや家族との時間、趣味や学びの時間などを大切にし、それぞれが常に高いパフォーマンスを出せるような姿勢を大切にしています。会社全体で理解と協力をし、ライフステージや家庭の事情に応じて、柔軟な環境を整えています。
PT+では安心して長期的にキャリアを築いていけるような職場づくりに取り組んでいます。

2024年度当社平均

平均残業時間 15時間

（日本のIT企業における平均残業時間23.2時間※）

※Geekly調べ

2024年度当社平均

有休取得率 75%

（日本の平均有給取得率65.3%※）

※厚生労働省より

チームのつながりを大切にするための“親睦会費”制度

プロジェクトチームや部署内での交流に使える「親睦会費」を、月3,000円まで会社が補助しています。 ちょっとした食事会や雑談の時間など、仕事以外でもチームの関係を深める機会に活用されています。

スキルアップを後押しする資格取得支援制度

資格取得にかかる費用は、会社がサポートする制度があります。 対象の資格にチャレンジする際の受験料や教材費だけでなく、有償セミナーへの参加費も支援の対象です。 学びたい気持ちをきちんと応援する仕組みが整っているので、安心してスキルアップに取り組めます。

働く環境も、自分にフィットするものを選べます

業務に必要な機材には標準構成がありますが、希望に応じてカスタマイズも可能です。
モニターやヘッドセット、キーボード、マウスなど、自分に合ったものを選んで快適な作業環境を整えることができます。

05

EVALUATION SYSTEM

評価制度

評価制度 EVALUATION SYSTEM

「目標」と「行動」の両面から評価を行います

「目標を設定」 × 「行動を評価」

定期的な対話と、納得感のある評価を大切に

評価は四半期ごとの1on1面談を通じて行っており、「コミュニケーションシート」を使って目標や振り返りを言語化し、上司とすり合わせを行います。 短いサイクルで対話を重ねることで、日々の取り組みや成長をきちんと評価に反映できる仕組みです。 給与は年俸制で、年に1回見直しのタイミングがあります。 一人ひとりの成果や姿勢を丁寧に見ながら、納得感のある評価を目指しています。

- コミュニケーションシートを使用し、4半期ごとに面談
- 年俸制で年1回給与見直しのタイミング

06

Q&A

Q&A

Q&A Q&A

Q. 不動産やREITに関する専門知識がなくても大丈夫ですか？

A. はい、大丈夫です。不動産投資信託（REIT）など専門的な知識が求められる場面もありますが、事前にすべてを理解している必要はありません。業務を通じて自然と知識を深められる環境が整っており、わからないことがあればすぐに周囲に相談できる体制があります。また、社内ではREITや業界に関する勉強会も定期的に実施しており、資格取得に向けたサポート制度もご用意しています。実践と業界知識がしっかり結びついているため、リアルな学びを得やすいのも特徴です。

Q. 選考プロセスはどのような流れですか？

A. 選考は最大で3回を想定しています。

- 1次面接：現場で一緒に働くエンジニアが参加し、実務に近い目線でのすり合わせを行います。
- 2次面接：マネージャーや部長、ディレクターなど、より上位のレイヤーとお話しいただきます。
- 最終面接：役員との面談を予定しています。

すべての面接で「一緒に働くことになるチーム」が関わるため、入社後のギャップが少ないのも私たちの強みです。

Q. まだ応募を迷っている段階ですが、カジュアル面談は可能ですか？

A. はい、応募前のカジュアル面談も大歓迎です。仕事内容や働き方などについてざっくばらんにお話できればと思っています。ぜひお気軽にご連絡ください。

WE ARE HIRING!!!

新しい組織づくりを前向きに楽しみながら、共に創り上げていくことに
やりがいを持てるエンジニアを募集しています！